

# アユ情報 第2号

平成29年3月30日  
栃木県水産試験場

## 1. アユ<sup>そ</sup>遡上情報

アユの遡上状況についてお知らせします。

### 那珂川の状況 (3/30 現在)

- ・茂木地区で、先週に引き続き遡上を確認しました (3/29)。



調査場所 (木須川合流付近)



採捕された天然遡上アユ

<茂木地区での定期調査結果>

平成29年				平成28年			
日付	水温	*採捕尾数	平均全長(mm)	日付	水温	*採捕尾数	平均全長(mm)
3月22日	13.0	1.5	93.3	4月1日	15.0	12.4	94.5
3月29日	13.5	1.5	97.3	4月8日	15.1	9.0	94.0
				4月15日	17.0	12.7	94.0
				4月22日	18.0	29.0	85.0
				5月2日	18.0	13.0	99.0
				5月11日	18.0	17.0	79.0
				5月18日	欠測	91.0	91.0
				5月24日	22.5	38.0	120.0

\*投網 1人1時間あたりに換算した採捕尾数

## 近県の状況 (3/30 現在)

- ・茨城県内の久慈川では 3/21 に堅磐堰（河口から約 8km）で遡上が確認されています

茨城県水産試験場内水面支場

H29 年久慈川・那珂川アユ遡上速報第 2 号

- ・多摩川のカス橋付近では、3/17 から遡上が確認されています。

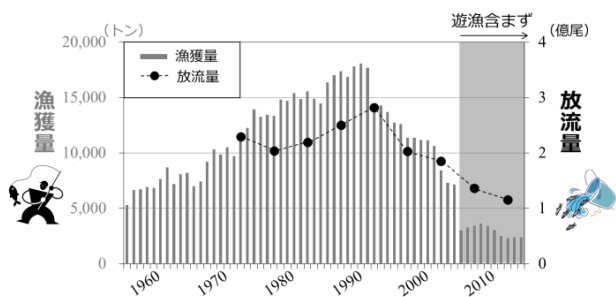
→3/29 までの累計遡上数：1,654 尾（H28 年同時期：376 尾）

東京都島しょ農林総合研究センター 平成 29 年アユ遡上調査

## 豆知識～アユの漁獲量の推移～

アユは海と川を行き来する魚ですので、河川工作物によって遡上が妨げられると生息域が減少します。しかし、治水や利水目的の河川工作物が多数設置され続けたにも関わらず、全国のアユの漁獲量は戦後伸び続け、1991 年には全国で約 1 万 8 千トンに達しました。

## アユの漁獲量と放流量

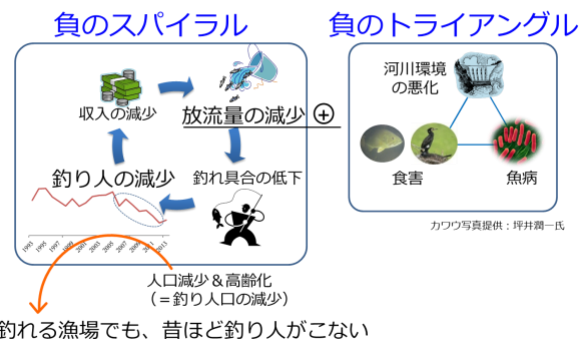


漁獲量：内水面漁業生産量統計 (1956-2015) より  
放流量：漁業センサス (1973-2013) より

これは、河川環境の悪化や冷水病の発生、カワウによる食害等によって、放流種苗の河川での生残率が低下したためと考えられます。そのため、アユ漁場は放流量の割に釣れ具合が悪く、釣り人がこない。つまり、放流にかけた経費を回収できなくなりました。この結果、放流量も漁獲量も減り続けるという負のスパイラルに陥っています。

これは、天然遡上アユが遡上できなくなった水域でも、アユ種苗を放流することで漁場を造成することができたためです。この時代は、アユ種苗 1 トンの放流によって 10 トンの漁獲が期待できると言われました。しかし、1993 年ごろから放流効果（放流量に対する漁獲量）が著しく低下しました。

## アユ漁場の問題点



連絡先 栃木県水産試験場

電話 0287-98-2888 FAX 0287-98-2885

ホームページアドレス <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g65/index.html>